

薬事委員会記録

日 時：平成 26 年 3 月 6 日(木) 17 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：伊藤、諏訪、木村(暁)、村瀬、大島、中山、棚橋、加納、安田(満)、市川、木村(豪)、杉山、畠山、金森、長瀬、久保田、吉田、倉坪、岡安、安田(浩)、小森、西垣

代理出席者：中村[1 内]、舟口[2 内]、森[総診]

委任状提出：富松、兼村、荒木、村上、竹中、酒々井

欠席者：山口、豊木、川瀬、林、紀ノ定、堀川、折居

記録の承認

平成 25 年 12 月 5 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 院外採用薬品の取扱いについて

院外薬品の採用については委員会で審議されていなかったが、今後は審議することとし、詳細については次回の委員会で決定することとした。

2. 医薬品の採用について

4 品目（アポカイン皮下注 30mg、プラリア皮下注 60mg シリンジ、ルセンティス硝子体内注射液 2.3mg/0.23mL、モビプレップ配合内用剤）の採用を承認した。

3. 医薬品の継続試用について

7 品目（ウルティプロ吸入用カプセル、ビソノテープ 4mg、モルペス細粒 2% 0.5g/包、アロキシ点滴静注バッグ 0.75mg/50mL、ボンビバ静注 1mg シリンジ、ジプレキサ筋注用 10mg、ボルベン輸液 6%）の継続試用を承認した。

4. 医薬品の新規試用について

9 品目（サムスカ錠 7.5mg、プリジスタナイーブ錠 800mg、アジルバ錠 20mg、レルベア 200 エリプタ 14 吸入用、オザグレル Na 点滴静注 80mg バッグ「テルモ」、ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL、ナイキサン錠 100mg、アセリオ静注液 1000mg、エポエチンアルファ BS 注 3000 シリンジ「JCR」）について、申請診療科および薬剤部より説明された後、新規試用の承認可否について投票を実施した。

その結果、原案通り全て承認された。

なお、アゾルガ配合懸濁性点眼液については、申請診療科の出席および説明がなかったため今回の委員会での可否投票を見送り、次回以降の委員会で再審議することとなった。

5. 医薬品の採用中止について

8 品目（アデロキザール散 7.8%、インタール細粒 10%、エカード配合錠 HD、ボノテオ錠 1mg、ガストローム顆粒 66.7%、デュロテップパッチ MT パッチ 8.4mg、アリクストラ皮下注 1.5mg、キサンボン S 注射液 40mg、ゾラデックス 1.8mg デポ）の採用中止を承認した。

6. 医薬品の院外採用について

12 品目（プリジスタナイーブ錠 800mg、アテレック錠 20mg、コンプラビン配合錠、トピロリック錠 20mg・同 40mg・同 60mg、イドメシンコーワゾル 1%、ボナロン経口ゼリー 35mg、アゾルガ配合懸濁性点眼液、アレジオン点眼液 0.05%、バラシクロビル粒状錠 500mg、ホスリボン配合顆粒）の院外採用を承認した。

7. 医薬品の院外採用中止について

ポンタール散 50%以下 205 品目の院外採用中止を承認した。

8. 医薬品の製剤変更について

6 品目（カルデナリン錠 0.5mg・同 1mg・同 2mg、カソデックス錠 80mg、イリボー錠 2.5μg・同 5mg）の製剤変更を承認した。

9. 医薬品の包装変更について

4 品目（デノタスチュアブル配合錠、オーキシス 9μg タービュヘイラー28 吸入、デトキソール静注液 2g、ヘパリン Na ロック用 10 単位/mL シリンジ 10mL「タナベ」）の包装変更を承認した。

10. バイオ後続品の採用について

3 品目（フィルグラスチム BS 注 75 μg シリンジ「モチダ」・同 150μg・同 300μg）のバイオ後続品の採用を承認した。

11. 後発医薬品への切替について

アンヒバ坐剤小児用 100mg 以下 55 品目の後発医薬品への切替を承認した。

報告事項

緊急購入医薬品の登録について

9 品目（ソブリアードカプセル 100mg、ヘモクロンカプセル 200mg、ロイケリン散 10%、アラベル内用剤 1.5g、エディロールカプセル 0.75μg、エルカルチン FF 内用液 10%、硫酸アトロピン末「ホエイ」、イーフェンバツカル錠 50μg・同 100μg）の緊急購入の登録が報告された。

その他

1. 放射性医薬品の採用について

放射性医薬品ダットスキャン静注の採用について報告がされた。

2. 医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況について

平成 26 年 1 月に行われた医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況の評価では、C 評価の項目がなかったと報告された。

3. 電子カルテにおける JUS D.I.（医薬品情報提供システム）について

JUS D.I.の利用方法について職員に十分な周知されていなかったことから、今後各病棟毎に説明会を行うと報告された。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 26 年 6 月 5 日(木)とした。